

JR東海労新幹線地本内でただ一人

成田委員長に狙い撃ちのボーナスカット！！

会社はこれまでJR東海労組合員に対して取るに足らない理由をでっちあげて不当なボーナスカットをしてきました。私たちは会社管理者への抗議や労働審判に訴えて闘ってきました。その結果、今年の年末手当はこれまでカットされてきた仲間も満額支給を勝ち取りましたが、成田さんただ一人が不当なカットをされました。これは明らかに私たちの闘いに対する報復として、地本委員長である成田さんを狙い撃ちにしました。



「誰がカットされたか知らない」 無責任な総務科長発言！

成田さんは12月9日、東京仕業検査車両所の総務科にボーナスカットの理由を聞きに行きました。しかし中村勝英総務科長は「(成田さんが)減率適用(カット)されているかどうか分からない」と、驚きの発言をしました。同行した本橋さんが「私のボーナスも減率されているのかわからないのですか」と聞くと「分からない」と答えたのです。社員の誰がボーナスカットされているか、現場の総務科長が知らないという信じられない事実があきらかになりました。

カットの有無を現場長は知っている！ 後ろめたいから隠そうとするのだ！

労働審判で裁判所に出した会社の答弁書には「減率適用の決定を行った結果について、人事課が箇所長に説明する内容は、どの社員が減率適用されたかということのみであり…(略)」となっています。また、成田

さんのボーナスカットについての苦情処理会議でも人事課は、カットされた社員の名前を現場長に伝えていると言明しています。それなのになぜ現場長は総務科長はじめ現場管理者にそれを伝えないのでしょうか。

会社は、減率（カット）適用の判断基準について、『安全・安定輸送や快適な輸送サービスの提供に直接的かつ重大な問題を生じせしめるような行為が～あれば減率適用を行っている』と明らかにしています。それなのになんで本人にカットの事実を伝えず隠すのでしょうか。安全輸送のためなら本人に伝えて指導するはずです。そうしないでカットの事実や理由を隠すのは、労働組合の闘いへの報復だからなのは明らかです。

これが非違行為なのか？ こんな理由でカットは冗談じゃない！

成田さんに対するカット理由として会社が明らかにしていることは以下の通りです。

- ① 4月頃、仕業検査時、Sカードを所持せず作業に就いた。
- ② 4月頃、仕業検査時、「保守情報確認ヨシ」の喚呼を誤った。
- ③ 4月頃、仕業検査時、「5号車、12号車EGS切ヨシ」の喚呼を誤った。
- ④ 4月頃、仕業検査時、パンタグラフ上昇のモニタ確認を行わなかった。
- ⑤ 5月頃、仕業検査時、仕業検査チェックシートの記載に不備があった。
- ⑥ 6月頃、仕業検査時、運転台出入扉の施錠を行わなかった。
- ⑦ 8月頃、仕業検査時、モニタでBC圧の確認を行わなかった。
- ⑧ 8月頃、仕業検査時、仕業検査チェックシートの記載に不備があった。
- ⑨ 8月頃、仕業検査時、標識灯減光の復位を行わなかった。
- ⑩ 9月頃、修繕作業時、全周ホロ組み立て作業チェックシートの記載に不備があった。

明らかにとってつけた理由ばかりです。こんなことでボーナスカットがされているのです。これが「安全・安定輸送に～重大な問題を生じせしめる」事態といえるのでしょうか。

ところでこれらの理由はすべて現場管理者の報告によるものです。それなのに「誰がカットされているかわからない」とは！ふざけるのもいい加減にせよ！私たちは責任逃れを許さず不当なボーナスカットの撤回まで闘います。

ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>

メールアドレス

jrcushinkansen@yahoo.co.jp

お気軽にアクセスしてください